

# 菊友會報

**第104号** 2020年(令和2年)1月1日  
 発行 = 菊友会  
 編集 = 広報委員会  
 <事務局> 東京都千代田区九段北 2-2-1  
 千代田区立九段中等教育学校内 (〒102-0073)  
 TEL (03)3263-2448 / FAX (03)3263-1033

Web Site -- <http://www.kudan-net.com/> Mail Address -- [kikyukai@kudan-net.com](mailto:kikyukai@kudan-net.com)

## 10年後の世界を見つめて・・・菊友会創設100周年へ!

### 皆が気楽に宇宙に行く時代がくる



1977年に東北大学を卒業、1980年に東京大学大学院を修了した私は、学生時代にハンググライダーの設計製作にのめり込み、川崎重工業航空宇宙カンパニーに就職。

6年程150人乗りジェット旅客機の研究に従事後、当時の文部省宇宙科学研究所故長友信人先生の下で有翼飛翔体HIMES (Highly Maneuverable Experimental Space vehicle)の研究開発に携わりました。

これが切っ掛けで、「宇宙が、みんなのものになる。」をスローガンに、飛行機に乗るように誰もが自由に宇宙を行き来できるサブオービタルスペースプレーンの開発運航サービスを行う(株)SPACE WALKERを2017年に創業しました。

文部省宇宙科学研究所は、第一東京市立中学時代の先輩で日本のロケットの父、糸川英夫博士が教鞭をとった東京大学生産技術研究所がルーツ。現在は、小惑星探査機はやぶさ2で皆さんにも馴染みのあるJAXA

の研究所です。

川崎重工業に復帰した私は、日本版無人スペースシャトルHOPE/HOPE-X (H-II Orbiting PlanEと実験機X)の研究開発チームで10年近い年月を捧げたものの、政府の判断で無期凍結。防衛省の次期哨戒機と輸送機開発を最後に、2005年に会社を飛び出て、九州工業大学で宇宙工学部門の教鞭をとることになりました。

研究テーマは、30年以上の月日を経ても未だ実現できない日本版スペースシャトルを目標とし、故長友先生のHIMES研究を復活させることにしました。

九州工業大学では、モチベーションが高く才能豊かな学生に恵まれて研究が進み、HOPE/HOPE-X時代に苦楽を共にしたJAXA、IHIや川崎重工業等のメーカーも集まった結果、今年4月、定年後の私を受け入れてくれた東京理科大学の野田キャンパスを研究開発の拠点に、大学発ベンチャーの認定を受けたSPACE WALKERが、産官学連携の体制でサブオービタルスペースプレーンの開発を目指すことにしました。

### 工学博士 米本浩一 (高25)

まずは、無人の無重量環境を提供する科学実験用の機体を2022年に、そして2024年には小型衛星打上機、そして2027年には、いよいよ皆が気楽に宇宙旅行を楽しむメードインジャパンのサブオービタルスペースプレーンを実現します。菊友会の皆様にも是非乗って戴きたく、楽しみに待っています。



### 菊友会90年の歩みに思う



1929年、第一東京市立中学校の第1回卒業生により創設された同窓会は戦争による活動休止を経て、1953年に菊友会として再建され昨年90周年を迎えました。その長い歩みの中で最大の危機は「都立九段高校の千代田区への移譲」でしょう。今日、母校が千代田区立九段中等教育学校として発展しているのも菊友会の存在抜きには語れません。区へ移譲されて14年を経過した現在、改めて記憶に留めておくべき出来事として、菊友会の思いを当時中心になってご尽力された高野光正元会長にご寄稿いただきました。

#### 九段中等教育学校開校までの経緯と思い出

平成14年(2002年)2月26日の新聞各紙に「東京都が九段高校を千代田区に移譲

する」との記事が、何の前触れもなくいきなり報道された。まさに青天の霹靂、学校にすぐに問い合わせたが事前通知はなかったようで大変驚かされていた。菊友会(当時鈴木

### 高野光正 (高4・元菊友会会長)

謙一17代会長)は直ちに事の真相を確かめるべく、会長・副会長・理事が手分けして行動を起こし関係者に問い合わせた。都教育委員会(都教委)は都立のレベル低下と地域人口変動を理由に都立高校改革課を設置し、高校の統廃合を含めた改革を検討中で九段高校もその対象になっているが、未だ正式に決定していないとの回答であった。一方、千代田区教育委員会(区教委)は小・中学校の再編を検討して来て既に実行もして来ているが、高校については「都立高校の移譲」を都に要請しているとの回答を得た。しかしながら5月22日区教委は正式に都教委に対し「九段高校移譲のための案」を提出した。

#### あけましておめでとうございます

#### 2020年度菊友会行事カレンダー

- 4月 9日(木) 菊友ゴルフ大会：石坂ゴルフ倶楽部(受付中)
- 5月 23日(土) 評議員会：九段中等教育学校会議室、懇親会
- 8月 22日(土)～23日(日) 至大荘懇親会：至大荘(8/22 プレゴルフ)
- 10月 18日(日) 菊友会大会：ホテルグランドパレス(予定)
- 10月 25日(日) 第28回東京校歌祭：杉並公会堂
- 11月 15日(日) 関西菊友会：大阪キャッスルホテル

- ◇ 秋の菊友ゴルフ大会(日時・場所未定)
- ◇ 高22回 卒業50周年記念同期会 9月12日(土)または26日(土)
- ◇ 高47回 卒業25周年記念同期会 開催年です

＜1ページから続き＞

菊友会は3月から10月までの間、教育委員会の有力者、都議会議員、区議会議員等各方面に亘り「九段高校存続の訴え」を行い、都教委と腹を割った話し合いを何度も続け、要望書も提出したが万策尽き、都教委は10月24日千代田区への九段高校移譲決定の手続きに入ることを決めた。菊友会としては移譲反対の意見が大半を占め、区立になる事は格下げになるという疑念を持つ教員・卒業生・在校生・保護者がおられる中、統廃合の憂き目に遭い下手をすれば同窓会消滅の危機も考えられるので、苦渋の決断を以て条件付きで受け入れる事を決めた。その間嫌がらせがあったり、時には脅迫まがいの意見を頂戴したりで当時の菊友会・学校関係者は苦勞を強いられた。

移譲決定が正式になってからは「中等教

育学校対策委員会」から始まり、「準備委員会」「学校経営評議会」等、都教委・区教委・学校・菊友会が参加し協議を重ねた結果、

1. 母体校は九段高校とし前期部分(新設する中学課程)は九段中学の実績に配慮する
2. 校歌は九段高校の校歌を継承し、校旗・校章は九段高校のものをベースに工夫する
3. 伝統行事は残し、特に至大荘・尽性園行事は菊友会が協力し継続する
4. 同窓会は菊友会を継承する
5. 法人九段の運営は菊友会に委託する
6. 校舎は取り敢えず富士見校舎を新設するが、九段高校校舎の改装を考慮すると目に見える部分の骨子が決まった。

こうして様々な困難を乗り越えて同じ志を持った菊友会同志の努力もあって、めで

たく平成18年(2006年)4月に開校式を迎え、石川千代田区長から菊友会に対し感謝の意が表され、壇上で堅い握手を交わした感触は今でも忘れられない。

千代田区立九段中等教育学校開校時は多少の混乱はあったが、行政・学校・P.A.・菊友会関係者の努力で乗り切って、現在では有名校にノミネートされる立派な学校に育ちご同慶の至りです。また、目に見えぬ至大至剛の精神に基づいた九段魂も引き継がれていることは嬉しい限りです。さらに「学校経営評議会」の会長職には菊友会会長経験者が委嘱され、学校経営に関与できる立場にあることは誠に有り難い事でありませう。菊友会としても引き続き学校発展のためお役に立つべく出来るだけの協力を惜しまぬ所存であると確信しております。

(高野光正・高4 元菊友会会長)

## 令和元年度 菊友会大会 新しい時代を迎えて

昨年10月20日(日)、令和に入って初めての菊友会大会がホテルグランドパレスで開催された。昨年は菊友会創設90周年を迎えた節目の年に当たり、その記念事業として菊友会では新たに森大作氏(中11)の書体文字で表現された菊友会旗を制作した。

菊友会の前身は1929年(昭和4年)4月に設立された「第一東京市立中学校同窓会」であり、1回生184人の卒業と同時に発足した。この市立一中同窓会では、今でいう菊友会大会に当たる総会の初会合を1935年(昭和10年)小石川植物園で開催した。そ

の後は1937年(昭和12年)に勃発した日中戦争(かつては日華事変と称す)から太平洋戦争の変転極まりない時代に遭遇し、本来の同窓会活動を行う余地など無く、中断したまま終戦直後の混乱期に至った。

このような状況下で当時の教員、卒業生等の発声で同窓会組織を再建しようという機運が高まり、1953年(昭和28年)に同窓会が復活した。会の名称は校章の菊にちなみ、「菊友会」と定めて同年6月に菊友会の第1回総会を母校において盛大に開催し、活動の第一歩を踏み出した。初代会長には



九段カラーの臙脂で、新たに制作

す。最後は校歌・至大荘歌の全員斉唱で会は閉会した。

5年後の2024年には学校創立100周年を迎えることとなります。年々参加者数が減少していますが、かつてのように会場探しに困るような大勢の会員の参加を期待します。最後に第7代会長の丸山禮次氏(中7)が学校創立50周年記念誌(1974年)で述べた将来へ向けての展望を記しておきます。「若い会員がもっとも積極的に参画されて、一年一年もっとも実のあるものに育て上げてくださることを望みます。おそらく本年の卒業生は母校創立百年祭にも参列することができるでしょうから……」

(持田 悟・高18)



挨拶する金子元久菊友会会長



講演中の神田尚俊氏

は会の基礎作りに尽力した福田英雄氏(中1)が推挙され、初代としての重責を全うされた。以後順調に事業活動を行い、今回の大会へと引き継がれてきた。当時の総会出席者数は常時400人から500人であったと伝えられている。

今大会第1部の特別講演は神田尚俊氏(高17)による「遺伝子の進化生物学からみた病氣」と題して、遺伝子を用いた病氣の予知と治療法の最先端の研究情報を素人にも解り易く説明していただいた。お待ちかねの第2部懇親会は、例年同様の式次第で金子元久会長と来賓による挨拶が進められた。残念だったことは新クラス委員となった中等10回生の新入会員が全員欠席したことです。恒例の福引は第1回大会から継承されてきた行事であり、会員寄贈の景品が出席者94人全員に渡された。改めて寄贈者に御礼申し上げま

### 景品をご提供いただいた皆様(敬称略)

高4 大井基臣	高17 井上良夫
高7 西脇 修	高17 高橋暁子
高7 桑田芳郎	高17 八橋康則
高7 宮島 徹	高20 金子元久
高9 岡田 繁	高21 原田忠禮
高13 村井 温	高31 福田 隆
高15 赤司久雄	高31 石渡恭子
高17 楯取能彦	高44 田巻優子
高17 野本俊輔	公益社団法人 九段

毎年楽しみです。至大荘懇親会を開催 8月24日～25日



1日目

今回は快晴の天候に恵まれ、参加総数は100人を超えて104人となり、至大荘懇親会が盛大に開催されました。

今まで、懇親会については菊友会報を通じて存じていましたが、今年は同期の仲間とともに初めて参加しました。

至大荘手前の小さなトンネルを抜けて、養気閣（食堂）などの各施設が見えてくると、高校生頃のなつかしさに加えて、そこには昔とは異なり、どの施設も綺麗に整備されて従来通りに並んでいました。

高校1年生の夏に宿泊してから早いもので半世紀(50年)が過ぎましたが、まずは、この間において施設の維持管理に要した関係者の皆さんの御苦労に感謝したいと思います。

今回は、参加者が100人を超えて夕食までに全員集合するのか心配されましたが、さすが時間厳守の九段生、時間までには集合して懇親会が始まり、後半のビンゴゲームでは大人も子供も一喜一憂して盛り上がり、お開きには校歌と至大荘歌の合唱で締めとなりました。

その後8時からは、芙蓉ヶ浦で花火大会

を行い、子供たちが一体となって盛り上がりとともに、夜空には雲がなく、漆黒の闇の中において星がたくさん見えたことから、多くの星に感動している子供もいました。

その後、9時からは大人の時間となり、養気閣において懇親会が再開され、世代ごとに当時の懐メロを合唱するなど、夜更けまで時間を忘れて過ごしました。

2日目

翌朝は、6時半からの芙蓉ヶ浦におけるラジオ体操(写真①)に始まり、昨晚の懇親会の疲れから体は思うように動きませんが、当時の高校生の頃を懐かしく思い



返すことができました。

朝食後には、スイカ割り(写真②)を天寮の前で行い、子供たちの真剣な姿勢に、大人の応援も熱くなる時間となりました。

そして、昼のバーベキュー(写真③)では、ステーキ、エビ等の海産物やカレーなど、食材が豊富なことから美味しさを満喫し、その後懇親会の締めとして参加者全員で記念撮影してから解散となりました。

今まで、至大荘懇親会については、参加する機会はありませんでしたが、今回参加したことでこれまでの自分を振り返る機会となりました。また、若い人にとっては家族との絆を深めるきっかけになると感じました。

次回も今回同様に多くの皆様に御参加いただき、それぞれ有意義で楽しい時間を過ごす懇親会となることを期待しています。

(柳川広明・高24)



「第27回東京校歌祭」に参加して

秋晴れの令和元年10月27日(日)、27回目を迎える今年の「東京校歌祭」は、杉並公会堂大ホール(荻窪)にて華々しく開始されました。本年の出場校は19校、九段は前半最後の出演となりました。

現役ブラスバンドの演奏をバックに、合唱部も参加して約60人の陣容で、「校歌」、「至大荘歌」、「至大荘と共に」を歌い上げま

す。本番前にまずは小ホールに集合し、顧問の高橋省司先生の指揮で入念なリハーサル。大きく声を出し、徐々に本番へのムードを高めます。リハーサル後そのまま舞台袖に移動、緊張する暇もなく第一東京市立中学校・都立九段高校・千代田区立九段中等教育学校の3本の「大のぼり」と新しくなった「菊友会」旗を携えてステージへ。本年は若手を代表して、今年の至大荘游泳助手を務めた学生5人も駆けつけてくれ、当

日の総司会を担った伊藤ユリアさん(高24)も一緒に、本番では他校を圧する元気みなぎる力強い歌声をホールいっぱいに響かせました。やはり至大荘歌を歌うと九段ならではの素晴らしい伝統をしみじみと感じます。

2020年は10月25日(日)、杉並公会堂にて開催予定です。ぜひ多数のご参加で、ともにあの頃を振り返りましょう。

(篠原慎一・高27)





九段祭パンフレット表紙

# 九段祭2019

9月14日、15日の土日で九段祭が開催されました。中等教育学校では14回目とのこと。朝からすごい混雑です。ご家族の参観が大変多いように感じました。

「教科展示」(研究発表)の部分では、1年生から大変レベルが高く感じられました。2年生にもなると、例えば「吸水性ポリマーの研究」など、社会の最先端の話題が研究されており驚きです。

展示の方法も大変頑張っていることが感じられ、また遊び心もいっぱい。看板コンテストの投票も迷ってしまいます。特に高学年による演劇はタイトルや看板の迫力はそれだけで芸術作品といえるレベルのものも多くありました。もちろんストーリーや演技も楽しいものばかりです。

パフォーマンス(演劇、演奏、実験、実演等)は学年や部活の差はなく、それぞれ迫

## BON VOYAGE!!

～夢を抱いて旅に出よう～

力、エンターテインメント性など高いレベルで競い合っていました。入学して間もない頃から上級生の活動を参考に育って行くのだなぁ、と感じる九段祭でした。

(百東英二・高25)



### 吹奏楽部 第12回定期演奏会

日時：2020年3月22日(日)  
場所：板橋区立文化会館 大ホール  
菊友会後援：入場無料

### 元生物部顧問・太田弘先生の米寿を祝う会

菊友会大会の後、同じグランドパレス 23F クラウンラウンジで、生物部だった神田尚俊さんの講演にも駆け付けてくださった太田先生の米寿を祝う会を開き、同じく元顧問でいらした岡本毅先生やOB(高17～30)の30人が集まり、先生の長寿をお祝いしました。

九段で長く生物を教えてください、あの学園紛争の時には教師の責任者として学生達の気持ちになって一生懸命動いてくださいました。私達生物部OBは其々に先生への感謝の気持ち



と思い出を語り、太田先生も九段にいらした時の事を熱く語ってください、先生を慕う私達はいまだに衰えない先生の情熱に感無量でした。(プレゼントされた'至大至剛'のTシャツを着て花束を掲げる先生！若いです！！)

(伊藤ユリア・高24)



### 至大荘プレゴルフ大会(8月24日)

毎年恒例の至大荘プレゴルフ大会が勝浦東急ゴルフで開催されました。優勝は井上和彦さん(高26)。

嶽えい寮で行われた表彰式ではコース提供の賞品争奪ジャンケン大会もあり、賑やかで楽しい時間になりました。

### 菊友会ゴルフ大会(11月20日)

第68回菊友ゴルフ大会が佐倉カントリーで開催されました。優勝は孫越明さん(高33)。飛び賞、ニアピン・ドラゴン、その他多数の賞品を前に全員でのジャンケン大会も。スコアの良し悪しに関係なく、参加者皆で楽しめる会を今後も企画しますので、お一人でも同期のお仲間とでも、気楽に参加してください。(小林紀子・高34)



### 柔道部還暦OB会

11月16日(土)午後1時より新橋の新橋亭において開催されました。

高7回から27回までの23人が集まり、和やかな雰囲気の中に終宴しました。今年は11月14日(土)です。多数の参加をお待ちしています。(山崎 猛・高20)



### 菊友会事務局より

- ① メモリアル室にお越しの際は、菊友会事務局に予約確認を!
- ② 住所、改姓等会員情報の変更時には事務局にご連絡を!!
- ③ 同期会・クラス会などで菊友会報未配達の会員がおられましたら、名簿上では連絡先不明の方です。是非ご連絡ください。
- ④ 同期会・クラス会・OB会等の開催のお手伝いをしています。
- ⑤ ご連絡はFAX、メールで。



火曜・金曜(11時～16時)は電話でも受け付けています。

FAX 03-3263-1033 ✉ kikuyukai@kudan-net.com

◆ 仕事始め:1月7日(火)/事務局休業:2月4日(火)・7日(金)/臨時開室:2月10日(月)



### 菊友会ホームページを全面リニューアル

今春、菊友会ホームページを全面リニューアルします。新ホームページの特徴は、①全体の色調を九段カラーの臙脂色に統一、②メニューをわかり易く分類・整理しコンテンツを見つけ易く改良、③同期会・クラス会やクラブ・同好会の専用ページを新設し、同期生やクラブOB/OG間の情報共有や交流の場を提供、④写真を出来るだけ取り入れて魅力的な画面

作りを目指します。

新ホームページは公開時にはコンテンツは限定的ですが、今後1～2年をかけてコンテンツを充実させる予定です。

また、ホームページのリニューアルに合わせて菊友会の正式ロゴを決定しました。菊友会報の表題に使われている菊友会の文字を新ホームページでもシンボルとして利用します。(中井健一・高27)



(新ホームページ)

(現在のホームページ)

### 伝統継承ホームルームを今年も実施

7月10日、九段中等教育学校の1年生を対象に「伝統継承ホームルーム」を行いました。

菊友会理事が各クラスに分かれて担当し、それぞれ同じスライドを使った説明を行いました。

「伝統」って何だ？ 一般的な「伝統」というものも軽く説明し、「九段を卒業してよかったな」と感じる気持ちも「伝統」ですよ、と九段独特の伝統である盡性園と至大荘の行事を説明。特に水禪を目の前で締める説明は興味を引いていたようです。

(百束英二・高25)



### 第37回 関西菊友会総会報告

11月17日大阪キャッスルホテルにて37人の出席のもと、菊友会本部より多くの参加を得て開催されました。本部金子会長の挨拶に続き、講演は元海上保安庁の高橋迪さん(高14)から「海上保安庁のあゆみ〜と私」のお話を頂きました。海洋国・平和理念の日本が国際的にもユニークな組織を進化させた経緯と、ご自身の歩みから海上保安庁の役割変遷をお話し頂きました。

29)、米田達郎さん(高44)の新たな雰囲気で行いました。高野光正さん(高4)のお話と乾杯で始まり、各テーブルにマイクが渡ったら皆さんの話がとても長くなり、お陰で初の司会には苦労があったようです。原田理事長から菊友会の現状、又学校運営に係わる学校経営評議会会長の赤司さんからの話を聞く事が出来、同窓会に参加して良かったと感じました。久しぶりの方々もご挨拶を頂き、会の目的である懇親を深める盛り上がりとなりました。今回も佐藤雅也さん(高38)、松岡浩さん(高38)から花

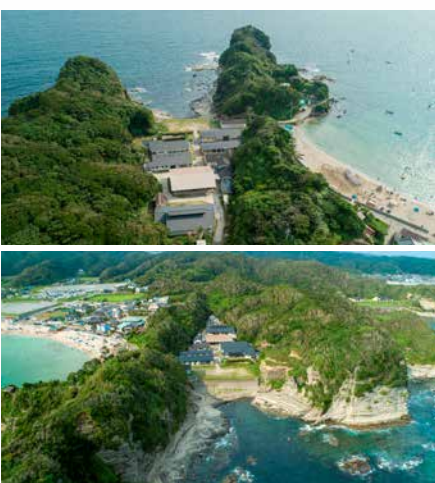
束が届き、参加された皆様のご支援にも感謝している次第です。第38回総会は2020年11月15日(日)です。(湯浅良男・高14)



### 法人九段だより

#### 至大荘行事がDVDに！

前号でお知らせしたクロカンのDVDに続き、至大荘行事もDVDになりました。ドローン撮影による遠泳の様子は圧巻です！どちらも菊友会員の皆様にご覧いただけるよう貸出しを行っています。同期会等でご活用ください。貸出しについては事務局までお問合せください。



事務局(月～金 10:00～16:00)

☎ 042-377-7446

✉ s-houjin@kudan.or.jp

公益社団法人九段事務局

永島幸代(高29)

#### ―秋の大型台風、施設被害報告―

昨秋9～10月関東を直撃した2つの大型台風により、至大荘・盡性園も大きな被害を受けました。至大荘は芙蓉ヶ浦からの暴風雨を受け、天窓を始めとする建物・施設の破

損は11ヶ所に及び、盡性園は野球場バックネット裏施設が壊滅状態です。あわせて700万円を超える損害額は、全て火災保険で補償されますが、保険料アップは必至と思われます。(横田千明・高19)

#### 学校に贈呈しているお花

菊友会としてお花を通し学校に貢献する事になり、生徒の情操教育や保護者や来賓をお迎えする為に生花による季節感を大切に正面玄関にお花を飾っていきたいと思っています。(伊藤ユリア・高24)



# 投稿ページ ~同期会・クラス会・OB/OG会など

投稿文は一部短縮編集させていただきました。

## 高2(中21) 同期会

10月15日、新装なった東京會館で27人(含同伴2人)、菊友会小林理事を迎えて開催。『体育の日』の翌日を定例開催日として約60年間毎年開催して参りましたが米寿を迎えた今回を定例日開催の最後といたしました。皆さん話題が豊富で、旧交をあたためながら和やかに過ごし、散会しました。(秋山和義・一色昭吾)



## 高7回生の集い

7回生の集い「夏の七九会」を7月6日に開きました。八十路の坂を順調に登ってきている同期生28人が集まりました。つい健康の話が中心になるのはご愛嬌ですが皆楽しく歓談してお互いのパワーを交換して和気あいあいの時を過ごしました。皆さん年3回の「春、夏、秋の七九会」の出会いを楽しみにしています。(宮島 徹)



## 高13同期会 58周年目の再会

3月30日、毎年定席となった百代茶屋田町店で開催。一昨年暮れに亡くなった方へ冥福を祈って黙祷後、開宴。菊友会から持田副理事長が祝金を持参され、菊友会の現況報告をされた。当初クラス別の座席で宴会が始まったが、バイキング形式と飲み放題で交流が進むにつれて、自由に席を歩き来して旧交を温めていった。校歌・至大莊歌斉唱後全員写真撮影。参加した55人は今年の再会を期して閉会。その後は会場でのお茶会をするグループ、会場外で2次会、3次会をする仲間へと散会していった。(林 勝久)



## 高3 同期会

菊朋会(高3同期会)は、例年同様11月8日に有楽町の綴(レストラン)で開催。会員23人に夫人1人参加で、87歳にしては昨年に近い出席者が集まった。会は、この1年の物故者7人に対する黙祷に始まり、行方会長代行のボケについて

の面白い挨拶のあと、ドクター古泉君の、人間誕生にまつわる有意義な30分講演を聴講。その後、各人の2分間スピーチでは、在学中の思い出話や近況報告が披露された。来年は米寿を迎えるが、最後の一人になるまで会を続けよう、と終盤に大変盛り上がりお開きとなった。(中川 繁)

## 今年も元気で！高4「至高会」開催

去る10月11日(金)に高4回生は66回目の「至高会」を、いつものホテル・グランドパレスで開催した。“上皇陛下と同年齢”のメンバー19人が集まり、「菊友会」からも理事中井健一氏がお祝いに駆けつけてくださった。近況報告や学校時代の思い出話で、予定の2時間はあっという間に過ぎ、また次回の会場予約をしてお開きとなった。2020年10月9日の第2金曜日に同会場で開催します。(長谷川 明)



## 高10 令和初の同期会

今年年中行事となった高10回生同期会が10月5日、神田神保町のレストランで開催された。出席は1次会65人、2次会30人。前回以来1年間に逝去が判明した7人の冥福を祈る黙祷で始まり、談笑の輪が広がった。卒業した昭和33年当時、日本人の平均寿命は男性65歳、女性70歳。同期会は16回目だが、この8年は毎年開いている。卒業

当時は想像できなかった80歳を迎え、そろそろ曲がり角だ。今回は案内状の末尾に今後の意向を問うアンケートを載せた。結果は「体力が続く限り毎回出る」が60人、「もう出ない」が63人、「2~3年に一度なら出る」が23人だった。幹事会としてはこれを踏まえて今後の運営を話し合うが、同期会への期待を無視できず、止めるわけにはいかないかな。(岡田 肇)

## 高5 菊五会に30人

日時：2019年6月1日(土)正午～  
場所：東京新宿区・四谷クラブ  
参加者：30人(男24人、女6人)  
初めて経験した10連休の影響か、今回は参加者の出足が鈍かった。「こんな状況では、最後の同期会になるかも」。幹事の間では、そんな声も聞かれた。しかし、最終的には30人が参加、久しぶりの参加者も3人を数えた。会場の雰囲気はいつもと変わらず、幹事の心配は杞憂に終わった。この嬉しい結果に、ある人はこう言ったものだ。「あと5年くらい、この会は大丈夫」。(後藤 基)

## 高15 同期会開催報告

令和元年9月21日(土)昼、銀座ライオン・クラシックホールで高15回の第12回同期会を開催いたしました。太田弘先生、川田節子先生の恩師お二人をお招きし、同期63人が3年ぶりに集い和やかなひと時を過ごしました。丁度後期高齢者の仲間入りをする年次で、交わされる話題は運転免許証返納とか老々介護の苦勞話等、昨今社会現象となっている世情の縮図を見ているようでした。一方で老いて益々意気軒高、年に数回海外旅行で世界を飛び回ったり、年間100ラウンドのゴルフプレーを楽しむ等若者顔負け

の猛者もいたり、様々な人間模様が垣間見られました。法人九段から拝借した尽性園のDVDが上映されると、余りにも変貌した佇まいに驚きの声上がる一方、九段伝統のクロスカントリーレースが今も受け継がれて多摩川の土手沿いを走る九段中等の生徒の姿を見て、50数年前の思い出が甦り、往時を懐かしむ会話も交わされていました。恒例の校歌、至大莊歌を4組四ツ倉緑さんのピアノ伴奏で高らかに歌い上げ、5年後(傘寿のお祝い)の再会を約して散会となりました。(赤司久雄)

## 高19 同期会「古希の節目記念」

梅雨の晴れ間の6月8日、神楽坂のラリアンスにて卒業後9回目の同期会を開催。参加者105人(男子68、女子34、先生3)。今回初めて1年生クラス・部活大集合を試み、会場は移動する人・笑い声と大賑わい。校歌を合唱し、関東一本締めで解散、全員が笑顔で「今が一番若い！元気！きれい！」。幹事団の努力と九段の魅力を実感できた1日でした。(遠山ちづ子)



### 高24 出会いから50年！ 昭和、平成、令和と紡いだ友情の輪 入学50周年記念同期会

桜咲く昭和44年4月に入学した私達も平成の壮年時代を経て還暦をとうに過ぎ、もはや老境の域に達しました。令和元年を迎えた今回は入学50年目の節目。ということで去る11月2日、記念同期会を学生会館にて執り行いました。

残念ながら鬼籍に入られた先生方や同期の黙祷に始まり、石橋義永幹事長の九段愛あふれるいささか長いスピーチ、近藤義郎先生のお言葉を受け、齋藤光司先生の乾杯の音頭で開幕。同期120人余と恩師6人が出会いの頃を思い起こしながらの歓談に、

会場は笑顔であふれかえり、あっと言う間の3時間でした。

最後は1年次クラス、3年次クラスに加えて部活ごとに40カットにも及ぶ写真撮影、竹田純男副幹事長の閉会の辞、玉木茂君の一本メで名残惜しくも閉会。それぞれが神保町界限に2次会、3次会と流れて行ったことは言うまでもありません。

最後にこの会への

ご協力を賜った菊友会理事、事務局の方々  
に深謝。ほんとうにありがとうございました。  
(熱田陽子)



### 高17 同期会報告

高校17回生の同期会が、ホテルグランドパレスにて11月16日午後2時30分より行われました。当初前月の10月12日の実施予定を台風19号の直撃にて延期したものの恩師3人、同期63人が集まりました。

昭和61年から2年毎に幹事の各組持ち回りで実施してきた同期会も、令和元年の今回で16回目を迎えることができ、今回のテーマは「大いに語ろう」。

お招きした恩師伊部哲先生の乾杯の音頭で始まり、川田節子先生の「今でも卓球で元気」、増田三郎先生の「新任初めての17回生への思い。昭和39年オリンピックの予行演習参加への返礼チケット」などのお話もあり、各テーブルでは、「今こそ話せるあの時の話」や「体調と健康」など様々な話で盛り上がりました。

2時間半の同期会の後も話が続き、クラスを超えて二次会に向かった仲間もいたようです。(池田憲夫)



### 中等4 卒業7年目の同窓会報告

10月5日、六番町のメソン・セルバンテスにて約3年ぶりに開催。春に大学院を修了した者や社会人3年目として仕事に励む者、研究者の道を歩む者など45人が参加。久しぶりに逢う変わらない仲間と、九段6年間の思い出話や近況報告で、3時間大いに盛り上がった。途中、結婚のニュースも飛び込み、会場は歓喜に包まれた。締めは、ワタナベエンターテインメント所属で活躍する、

同級生のウディ(都留拓也)と共に写真撮影。閉会後は麴町で2次会を開催。絆が強い中等4回生。また数年後、次回はさらに多くの仲間と恩師を交えて同期会を行いたい。  
(飯島瑠玖)



### 高7 ゴルフ

10月31日、第53回目の七九会ゴルフを磯子カントリーで開催。

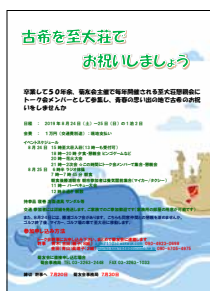
今回は参加者が10人と少し寂しくなりましたが素晴らしい秋晴れのなか、良きゴルフ場で生き生きと無事に楽しくプレイ出来た事誠に幸せでした。

83歳にもなればベスグロが98で100を切れたのは4人と往年の勢いはいささか衰えたのはご同慶の至りですが、まだまだ気力は衰えず次回の健闘をお互いに確かめ合

いました。  
次回は連覇優勝者齋藤氏と大庭氏の幹事で、令和2年5月14日(木)磯子カントリーでの開催が決まりました。(宮島 徹)



### 高19 2019年のトーク会報告



6月の同期会でチラシを配り、8月24日～25日の「至大荘懇親会」に10人が参加しました。多くの同窓生の中には家族連れもあり、和気あいの楽しい2日間を過ごしました。

10月18日には、参加者12人、石坂GCで第47回のゴルフコンペを開催。次回の予定は5月か6月です。

秋にはまた皆で集まるイベントを企画する予定です。(青木麗子)

### 逝去

会員専用ページでの掲出とします。

### 維持会費納入のお願いと、転居の際のご連絡を!!

菊友会活動の原資は皆様から 上げます。最近5年間の維持会 費収入金額、納入者数等の状況 費収入金額、納入者数等の状況 している会員の方々にお礼を申し は次のとおりです。

	2015/3	2016/3	2017/3	2018/3	2019/3
維持会費収入(千円)	6,279	6,781	5,952	5,669	5,993
納入者数(人) a	2,138	2,221	2,014	1,925	1,961
正会員数(人) b	14,886	14,501	14,259	14,103	13,825
納入割合 a/b	14.4%	15.3%	14.1%	13.6%	14.2%
新登記者-逝去者(人)	29	△1	35	29	△18
転居先不明者数(人)	278	325	274	264	260
年度収支差額(千円)	△564	638	△70	△122	△443

年度によりぶれはありますが、正会員数(除不明者)は純減傾向です。最近10年間の新会員増加の平均は毎年130人弱、今年度卒業予定者は147人です。また、転居先不明の会員数も多く、更に今年度から会報の発送を郵便から低料金のクロネコヤマトに変更したため、引越し先への転送ができないこととなりました。そのため不明者数は増加することが考えられます。そして納入者割合は15%台から14%に近づいています。即ち収

入は減少傾向にあり、10年前まで遡るとその傾向は顕著です。その結果年度毎の収支差額はご覧のとおりです。予算編成、実際の収支において、細かい点まで考慮して無駄を省き努力して活動しています。今年度10月末現在の維持会費収入金額は前年同月を下回っています。未納の方には郵便振替用紙を同封してあります。あるいは記載の銀行口座宛て納入を宜しくお願い致します。(会計委員会 鈴木康雄・高24)

### 理事会だより

定例の理事会は毎月第2金曜日に母校のメモリアル室で開催。年間の活動計画や予算案を作成し会員との親睦を図り、会報の作成やホームページのリニューアル作業などを実施してきました。各月の理事会での主な内容を報告します。

#### ●2019年6月度●

7月1日発行の会報103号を承認。評議会議事録の承認。5月17日(金)九段中等体育祭実施。原田、横田、中井、大野理事参観。6月13日(木)学士会館にてP.A.主催の九段中等教育学校歓送迎会実施。原田理事長出席。6月21日(金)法人九段社員総会に理事出席。

#### ●7月度●

「至大荘懇親会」の実施概要・役割分担を承認。菊友会90周年記念品について審議されたが、デザイン等の再検討を理由に審議保留となった。7月10日(水)伝統継承HRを実施、理事8人対。長門由美子理事辞任。

#### ●8月度●

今回はメールで理事会を開催した。菊友会発足90周年記念品の一つ「新菊友会旗」につきデザイン案決定。8月24日(土)・25日(日)「至大荘懇親会」開催。大人87、子供12、幼児5の計104人参加。「至大荘プレゴルフ」も参加30人で無

事終了。秋の各同期会6件への出席理事を決定。

#### ●9月度●

平野清一氏(高30)を新理事に推薦承認。「菊友会大会」の案内状を発送。HP改良委員会がトライアルページを作成、理事に基本デザイン、コンテンツ順序、位置などアンケート実施。

#### ●10月度●

10月16日(水)6年生への菊友会説明及び登録票の記入提出を理事12人で実施。10月20日(日)「菊友会大会」を開催。参加90人。10月26日(土)6年生保護者への菊友会説明会と入会金受付を理事10人で実施。10月27日(日)杉並公会堂で実施の「第27回東京校歌祭」に参加。

#### ●11月度●

米澤京子氏(高25)を新理事に推薦承認。2019年度クロスカントリーレースの表彰メダル発注承認。11月17日(日)関西菊友会に会長・副会長・理事長出席。

### 2019年度維持会費 (2019年4月～2020年3月)

- 中1回 ～ 中21回 3,000円
- 高1回 ～ 高61回 3,000円
- 中等1回 ～ 中等5回 3,000円
- 中等6回 ～ 中等10回 1,000円(減額期間)

#### ●郵便振替 (払込手数料は菊友会が負担します)

※住所・氏名・電話番号・卒業回・個人コード(会報封筒に印字されている番号)をご記入願います。

※2019年11月30日現在、今年度維持会費未納の方に維持会費納入票を同封いたしました。

#### ●銀行振込 (振込手数料をご負担ください)

- 三菱UFJ銀行 神保町支店 普通口座:0691551
- みずほ銀行 九段支店 普通口座:1453238
- 三井住友銀行 神保町支店 普通口座:2111680
- りそな銀行 九段支店 普通口座:1413234

※口座名義はすべて菊友会です。

※銀行から納入する場合、個人コードもご記入ください。

### 同期会などのお知らせ

同期会・クラス会・OB会などのお知らせ欄です。ご活用ください。

#### 高22 卒業50周年同期会のお知らせ

九段の学舎を巣立って以来、2020年に50年が経とうとしています。この50年を区切りとして、学生や教職員が一堂に会し、旧交を温める会合を企画しています。現状、以下を想定しています。皆さん、奮って参加してください。(幹事一同)

実施日時:

(案1) 2020年9月12日(土)14:00~16:00

(案2) 2020年9月26日(土)14:00~16:00

(2020年の九段中等教育学校の九段祭開催日に合わせる予定です。4月に正式に決定します)

開催場所:

ホテル・グランドパレス 東京都千代田区飯田橋1-1-1

連絡先:柳川(080-4057-2020)

#### 高30 還暦記念同期会

日時:2020年11月29日(日) 13:30~ 予定

詳細が決まり次第、各クラス幹事より連絡します。

(幹事:山口江理)

#### 編集後記

2019年秋は、「ラグビーワールドカップ」で日本全国が大いに盛り上がりました。そして2020年はいよいよ「東京オリンピック」の年です。思えば「共通体験」こそが私たちの絆を強くするものなのを言うまでもありません。2018年秋より広報委員を務めています。昨年は菊友会も90周年という節目を迎えました。自分にとっての「九段」の存在の大きさをあらためて感じていま

す。世代を超え、卒業後の多様な人生を超えた「九段という共通体験」の絆の強さに、今更ながらいささかの驚きをもって接しています。その存在がどれほど貴重であるかにやっと気づいたところなのです。それを特に新しい会員各位にいかにつなげていくか、菊友会100周年に向けこれからの10年、九段をどう支えていくかが課題と考えています。(篠原慎一・高27)

#### 原稿のお願い 締切りは5月15日(金)

次回105号菊友会報に原稿をお寄せください。同期会・OB会開催の楽しい報告や母校の思い出など250字程度、写真は500KB程度で、事務局までメールまたは郵送してください。中等卒業の若い方々の投稿大歓迎です。